

# 下地調整材の 使い分けについて

## 該当製品

- フローンエポパテ
- フローンHRプライマー（TXフリー）
- フローンベースエポ
- フローン水性HRプライマー
- フローンエポモル

1～3で判断し、使い分けを行って下さい。

1. 職人の力量による使い分け  
⇒初心者（ローラーしか使った事がない）  
中級者（コテで塗装をした事がある）  
上級者（コテで床塗装が完璧にできる）
2. 使用面積による使い分け  
⇒小面積・中面積・大面積
3. 1回で塗装できる最大塗膜厚による  
使い分け（クラックの深さの限界）  
⇒珪砂有・珪砂無での塗膜厚

# フローンエポパテ・フローンHRプライマー（TXフリー）・フローンベースエポ比較一覧表

	フローンエポパテ	フローンHRプライマー (TXフリー)	フローンベースエポ
			
1. 職人の力量	初心者～上級者	中級者～上級者	上級者
2. 使用面積	小面積	小～大面積	小～大面積
3. 1回で塗装できる最大塗膜厚※1	～7mm ※2	珪砂無～1mm 珪砂有～5mm（目安） ※2	珪砂無～1mm 珪砂有～7mm（目安） ※2
4. 特長	使い勝手の良い 万能な製品	下地調整のスタンダード 基本的には珪砂混合	フローンHRプライマーの安価品
5. 使用例	・部分的な欠損・クラック補修	・床面の全体的な不陸調整、 ヘアークラック補修 ・厚膜のピンホール防止（しごき）	・床面の全体的な不陸調整、 ヘアークラック補修 ・厚膜のピンホール防止（しごき） ・1～2mmのベース層の形成
6. 取扱やすさ	粘度が高く、小さい面積に適している	粘度が低くコテで塗りやすい。 大きな面積に適している	フローン55同等の作業性 （フローンHRプライマーより高粘度）

※1 それぞれの製品について、一度に塗布する量が多くなると塗膜の収縮が強くなったり、歪みが強くなる為、最大塗膜厚の目安を設定しています。

※2 最大塗膜厚は、部分的な穴埋めに使用する用途に限ります。広い面積を5mm以上付けて施工可能なのはエポモルのみです。

# フローンエポモル・フローンHRプライマー比較一覧表

	フローン水性HRプライマー	フローンエポモル
		
1. 職人の力量	中級者～上級者	上級者
2. 使用面積	小～大面積	小～大面積
3. 1回で塗装できる最大塗膜厚※1	珪砂無～1mm 珪砂有～2mm	珪砂有～5mm
4. 特長	水性下地調整のスタンダード	樹脂モルタルはエポモル！
5. 使用例	HRプライマーの臭気が気になる現場向け	床全体の不陸調整やかさ上げ用途
6. 取扱やすさ	粘度が低く、作業がしやすい	珪砂を多量に混合する為、液状ではない。 バサバサ感がある為、塗り広げるには経験が必要

※1 それぞれの製品について、一度に塗布する量が多くなると塗膜の収縮が強くなったり、歪みが強くなる為、最大塗膜厚の目安を設定しています。

# フローンエポパテ（ピンホール処理） 施工写真



# フローンエポパテ(クラック処理) 施工写真





珪砂7号混合しごき塗り

しごき塗りはコテを立てるのがポイント。（45°くらい）

## 1. 5kg/m<sup>2</sup> (1mm厚)



## 1. 5kg/m<sup>2</sup> (1mm厚)

